



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社
コード番号 4974 URL <http://www.takara-bio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松崎 修一郎

TEL 077-543-7212

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,293	7.0	1,263	39.1	1,384	39.6	△84	—
26年3月期第3四半期	16,167	16.2	908	28.3	991	24.2	542	△24.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 283百万円 (△87.2%) 26年3月期第3四半期 2,213百万円 (190.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△0.71	—
26年3月期第3四半期	4.65	4.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	63,261	57,351	90.5	475.53
26年3月期	62,500	57,127	91.3	473.93

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 57,261百万円 26年3月期 57,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	1.20	1.20
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.20	1.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,900	8.3	2,200	12.6	2,660	18.8	1,000	△32.0	8.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	120,415,600 株	26年3月期	120,415,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	120,415,600 株	26年3月期3Q	116,720,036 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。
業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成27年3月期の個別業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	15,685	1.9	△589	-	1,067	△6.5	439	△58.4	3	65

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

なお、平成26年11月5日に公表した通期業績予想を修正しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(その他の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 経営管理上重要な指標の推移	11
(2) 連結比較損益計算書	12
(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動の影響がありましたものの、積極的な金融・財政政策により輸出関連を中心とした企業の収益や設備投資に持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、輸入原材料高や世界経済の減速が景気を押し下げるリスクとなるなど、景気の先行きは依然として不透明感が残る状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、長年培われたバイオテクノロジーを活用し、バイオ産業支援事業、遺伝子医療事業、医食品バイオ事業の3つの領域に経営資源を集中し、業績の向上に努めました。

その結果、売上高は、主力の研究用試薬が円安の影響も加わり、前年同期を大きく上回ることで17,293百万円(前年同期比107.0%)となりました。売上高増加にともない売上総利益は、9,453百万円(前年同期比109.1%)となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費等が減少いたしましたものの人件費や研究開発費等の増加により8,190百万円(前年同期比105.6%)と増加いたしました。営業利益は、1,263百万円(前年同期比139.1%)と増益となりました。

営業外損益では、前期の為替差益が当期は為替差損に転じましたが、受取利息の増加や前期に発生した公募増資の実施等による株式交付費がなくなったことにより収支が改善いたしましたので、経常利益も1,384百万円(前年同期比139.6%)と増益となりました。

特別損益では、遊休資産にかかる減損損失247百万円を計上いたしましたので、税金等調整前四半期純利益は、経常利益の増益幅より減少した1,110百万円(前年同期比116.0%)となりました。

さらに、繰延税金資産の取崩し等により法人税等が増加いたしましたので、四半期純損失84百万円(前年同期は、四半期純利益542百万円)となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

なお、当社は、平成26年4月1日付で、技術力の有効利用および収益力の向上をはかるため、組織改正を行いました。これにより、遺伝子工学研究事業部門をバイオ産業支援事業部門に改称し、遺伝子医療事業部門の細胞・遺伝子治療センターが分掌していた研究開発・製造・受託機能を統合いたしました。

以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第3四半期連結累計期間の品目別売上高の状況については、主力の研究用試薬が円安の影響もあり前年同期比で大きく増加いたしました。また、理化学機器も増加いたしました。研究受託サービスは減少いたしました。

以上の結果、外部顧客に対する売上高は15,497百万円(前年同期比106.7%)と増収となり、売上総利益も9,111百万円(前年同期比109.2%)と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、販売促進費が減少いたしましたものの人件費や減価償却費等の増加により5,911百万円(前年同期比108.9%)と増加いたしました。営業利益は3,199百万円(前年同期比109.6%)と前年同期を上回りました。

[遺伝子医療]

当事業では、高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法およびRNA分解酵素や腫瘍溶解性ウイルスに関する自社技術を利用した、がんやエイズの遺伝子治療の早期商業化に注力しております。

当第3四半期連結累計期間は、売上の実績がなく、販売費及び一般管理費が、670百万円(前年同期比106.7%)と増加いたしましたので、営業損失は670百万円(前年同期営業損失628百万円)となりました。

[医食品バイオ]

当事業では、食から医という「医食同源」のコンセプトに基づき、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して日本人が古来常食してきた食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、ボタンボウフウイソサミン関連製品、明日葉カルコン関連製品、寒天アガフィトース関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、健康食品およびキノコの売上高がともに前年同期比で増加いたしましたので、外部顧客に対する売上高は1,796百万円(前年同期比109.1%)と増収となり、売上総利益は341百万円(前年同期比106.8%)と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や販売促進費等が増加したことにより489百万円(前年同期比100.8%)と増加いたしました。営業損失は147百万円(前年同期営業損失165百万円)と改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は63,261百万円となり、前連結会計年度末に比べて760百万円増加いたしました。これは主に、有形・無形固定資産の増加2,550百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,909百万円となり、前連結会計年度末に比べて536百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加283百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は57,351百万円となり、前連結会計年度末に比べて224百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定の増加382百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,369百万円の収入となり、前年同期に比べて158百万円の収入増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加152百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,199百万円の支出となり、前年同期に比べて10,985百万円の支出減少となりました。これは主に、定期預金の預入による支出の減少11,885百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、114百万円の支出となり、前年同期の収入から転じ、11,378百万円の減少となりました。これは主に、前期に発生した株式の発行による収入11,402百万円がなくなったことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、4,559百万円となり、前連結会計年度末より1,870百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月5日の第2四半期決算短信で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正、特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、Collectis AB(スウェーデン)の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。なお、Collectis ABは、平成26年9月1日付でTakara Bio Europe ABに社名変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更にもなう影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の投資その他の資産が79百万円、退職給付に係る負債が14百万円、利益剰余金が42百万円、それぞれ増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産(リース資産を除く)のうち、四日市事業所(旧ドラゴンジェノミクスセンター)所在の有形固定資産以外について、減価償却の方法に定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、会社設立から12年が経過し、また、当連結会計年度より遺伝子・細胞プロセッシングセンター等が稼働することから、研究開発活動および生産活動において有形固定資産の安定的な使用が見込まれる状況になったことを受け、償却方法を再検討した結果、定率法から定額法に変更することが合理的であると判断したことによるものであります。

この変更により、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が、それぞれ234百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,302	17,675
受取手形及び売掛金	6,271	5,709
有価証券	8,631	9,729
商品及び製品	3,309	3,886
仕掛品	203	313
原材料及び貯蔵品	908	970
その他	1,227	1,455
貸倒引当金	△37	△41
流動資産合計	41,817	39,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,148	11,505
減価償却累計額	△5,285	△5,593
建物及び構築物 (純額)	3,863	5,911
機械装置及び運搬具	5,936	6,834
減価償却累計額	△4,414	△4,189
機械装置及び運搬具 (純額)	1,522	2,644
工具、器具及び備品	4,751	5,566
減価償却累計額	△3,311	△3,562
工具、器具及び備品 (純額)	1,440	2,003
土地	7,673	7,696
リース資産	40	41
減価償却累計額	△26	△32
リース資産 (純額)	14	9
建設仮勘定	2,447	986
有形固定資産合計	16,960	19,252
無形固定資産		
のれん	1,477	1,735
その他	1,109	1,109
無形固定資産合計	2,587	2,845
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,169	1,464
貸倒引当金	△34	△1
投資その他の資産合計	1,135	1,462
固定資産合計	20,682	23,561
資産合計	62,500	63,261

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,551	1,834
短期借入金	136	142
未払法人税等	243	140
引当金	197	298
その他	2,244	2,366
流動負債合計	4,372	4,783
固定負債		
長期借入金	225	211
退職給付に係る負債	294	330
その他	479	584
固定負債合計	1,000	1,126
負債合計	5,372	5,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	7,280	7,093
株主資本合計	55,139	54,952
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,926	2,309
退職給付に係る調整累計額	2	△0
その他の包括利益累計額合計	1,928	2,309
少数株主持分	58	89
純資産合計	57,127	57,351
負債純資産合計	62,500	63,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	16,167	17,293
売上原価	7,500	7,839
売上総利益	8,666	9,453
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,776	1,955
退職給付費用	42	53
研究開発費	2,154	2,225
引当金繰入額	150	150
その他	3,634	3,804
販売費及び一般管理費合計	7,758	8,190
営業利益	908	1,263
営業外収益		
受取利息	81	102
為替差益	36	—
不動産賃貸料	28	29
その他	17	26
営業外収益合計	164	158
営業外費用		
支払利息	5	8
為替差損	—	8
株式交付費	63	—
不動産賃貸費用	10	9
その他	2	11
営業外費用合計	81	37
経常利益	991	1,384
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	34	26
減損損失	—	247
特別損失合計	34	273
税金等調整前四半期純利益	957	1,110
法人税、住民税及び事業税	545	726
法人税等調整額	△125	479
法人税等合計	420	1,206
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	537	△95
少数株主損失(△)	△5	△10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	542	△84

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	537	△95
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,675	381
退職給付に係る調整額	—	△2
その他の包括利益合計	1,675	379
四半期包括利益	2,213	283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,220	295
少数株主に係る四半期包括利益	△7	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	957	1,110
減価償却費	849	956
減損損失	—	247
その他の償却額	137	136
のれん償却額	100	92
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	27	△30
その他の引当金の増減額 (△は減少)	67	91
受取利息	△81	△102
支払利息	5	8
固定資産除売却損益 (△は益)	34	26
売上債権の増減額 (△は増加)	1,095	633
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△823	△659
仕入債務の増減額 (△は減少)	△303	227
その他	△340	△720
小計	1,725	2,040
利息及び配当金の受取額	77	107
利息の支払額	△2	△6
法人税等の支払額	△589	△771
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,211	1,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,555	△8,670
定期預金の払戻による収入	14,636	11,295
有価証券の取得による支出	△871	△2,926
有価証券の売却及び償還による収入	871	926
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,342	△3,294
その他償却資産の取得による支出	△49	△254
投資有価証券の取得による支出	△5,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△276
その他	126	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,184	△3,199
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10	1
長期借入金の返済による支出	△28	△14
株式の発行による収入	11,402	—
配当金の支払額	△123	△143
少数株主からの払込みによる収入	17	42
リース債務の返済による支出	△13	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,264	△114
現金及び現金同等物に係る換算差額	528	73
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,181	△1,870
現金及び現金同等物の期首残高	6,538	6,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,357	4,559

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	14,521	—	1,645	16,167	—	16,167
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	1	1	△1	—
計	14,521	—	1,647	16,168	△1	16,167
セグメント利益または 損失(△)	2,918	△628	△165	2,124	△1,216	908

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,216百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	15,497	—	1,796	17,293	—	17,293
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,497	—	1,796	17,293	—	17,293
セグメント利益または 損失(△)	3,199	△670	△147	2,381	△1,118	1,263

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,118百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「バイオ産業支援」セグメントにおいて、Collectis AB (スウェーデン)の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、299百万円であります。

各報告セグメントに配分していない遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、247百万円の減損損失を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

当社は、平成26年4月1日付で、技術の有効利用および収益力の向上をはかるため、組織改正を行いました。これにより、遺伝子工学研究事業部門をバイオ産業支援事業部門に改称し、遺伝子医療事業部門の細胞・遺伝子治療センターが分掌していた研究開発・製造・受託機能を統合いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法は、四日市事業所(旧ドラゴンジェノミクスセンター)所在の有形固定資産を除き定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、バイオ産業支援事業部門で218百万円、遺伝子医療事業部門で0百万円、医食品バイオ事業部門で14百万円、調整額で1百万円、それぞれ増加しております。

(その他の注記)

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

研究開発費の内訳

研究開発費の総額

2,225百万円

このうち主なものは、次のとおりであります。

従業員給料及び賞与

714

退職給付費用

19

引当金繰入額

53

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(平成26年12月31日現在)

現金及び預金勘定

17,675百万円

預入期間が3か月を超える定期預金

△13,188

取得日から3か月以内に償還期限が到来する短期投資(有価証券)

72

現金及び現金同等物

4,559

(減損損失)

当社グループは、減損の兆候を判定するにあたり、遊休資産を除き、原則として事業部門ごとを1つの資産グループとして資産のグルーピングを行っており、当第3四半期連結累計期間において、以下の資産について減損損失(247百万円)を計上いたしました。

(単位:百万円)

用途	場所	種類及び減損損失				
		建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	工具、器具 及び備品	土地	合計
遊休資産	当社楠工場 (三重県四日市市)	9	39	0	150	199
遊休資産	当社草津事業所 (滋賀県草津市)	4	7	3	—	15
遊休資産	当社 (京都府京丹波町)	—	—	—	31	31
	合計	14	47	3	181	247

①減損損失を認識するに至った経緯

キノコ事業の再構築(当社楠工場でのホンシメジ生産中止等)にともない、今後使用する見込みのなくなった資産について、減損損失を認識いたしました。

②回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、不動産鑑定評価等に基づく正味売却価額により測定しております。

4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

① キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

回次	第12期 第3四半期連結累計期間	第13期 第3四半期連結累計期間	第12期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成26年4月1日 至平成26年12月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,211	1,369	2,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,184	△3,199	△14,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,264	△114	11,281

② 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
8,291	2,812	2,839	893	1,175	153	16,167

当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
8,116	3,145	3,426	945	1,433	226	17,293

③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位：百万円)

回次	第12期 第3四半期連結累計期間	第13期 第3四半期連結累計期間	第12期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成26年4月1日 至平成26年12月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
バイオ産業支援	1,248	1,373	1,674
遺伝子医療	594	666	914
医食品バイオ	100	111	151
全社共通	211	74	285
合計	2,154	2,225	3,026

(2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成26年3月期 第3四半期 連結累計期間実績	平成27年3月期 第3四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	11,008	12,021	1,012	109.2%
理化学機器	1,634	1,700	65	104.0%
受託	1,530	1,467	△62	95.9%
その他ファイナ	347	307	△39	88.6%
バイオ産業支援計	14,521	15,497	975	106.7%
遺伝子医療	—	—	—	—
健康食品	460	587	127	127.7%
キノコ	1,185	1,208	22	101.9%
医食品バイオ計	1,645	1,796	150	109.1%
売上高計	16,167	17,293	1,126	107.0%
(営業損益)				
売上高	16,167	17,293	1,126	107.0%
売上原価	7,500	7,839	339	104.5%
売上総利益	8,666	9,453	786	109.1%
販売費一般管理費	7,758	8,190	431	105.6%
運送費	393	453	60	115.3%
宣伝費	94	84	△10	89.1%
促進費	732	634	△97	86.7%
研究開発費	2,154	2,225	70	103.3%
商標使用料(宝HLD)	6	6	△0	95.3%
管理費、その他	4,300	4,710	410	109.5%
事業税(外形基準)	76	75	△1	98.3%
営業利益	908	1,263	355	139.1%
(営業外損益)				
営業外収益	164	158	△6	96.0%
営業外費用	81	37	△43	46.0%
経常利益	991	1,384	392	139.6%
(特別損益)				
特別利益	0	—	△0	—
特別損失	34	273	239	795.5%
税金等調整前四半期純利益	957	1,110	152	116.0%
法人税等	420	1,206	785	287.0%
少数株主損益調整前四半期純利益	537	△95	△632	—
少数株主利益	△5	△10	△5	—
四半期純利益	542	△84	△627	—
減価償却費(有形・無形)	849	956	107	112.6%
研究開発費	2,154	2,225	70	103.3%

セグメント別損益(営業利益)

	平成26年3月期 第3四半期 連結累計期間実績	平成27年3月期 第3四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	2,918	3,199	281	109.6%
遺伝子医療	△628	△670	△42	—
医食品バイオ	△165	△147	17	—
共通	△1,216	△1,118	98	—
計	908	1,263	355	139.1%

(注) 平成26年3月期第3四半期連結累計期間実績の売上高およびセグメント別損益(営業利益)は、平成26年4月1日付の組織改正に従って、監査実施後の確定数値に組み替えて表示しております。

(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成26年3月期 通期実績	平成27年3月期 通期前回予想	平成27年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
(売上高)							
研究用試薬	15,761	17,044	17,535	1,773	111.3%	490	102.9%
理化学機器	2,686	2,352	2,449	△236	91.2%	96	104.1%
受託	2,689	2,943	3,068	378	114.1%	124	104.2%
その他ファイナ	525	410	416	△108	79.4%	5	101.4%
バイオ産業支援計	21,663	22,752	23,470	1,807	108.3%	718	103.2%
遺伝子医療	—	—	—	—	—	—	—
健康食品	672	809	812	139	120.8%	2	100.3%
キノコ	1,570	1,637	1,617	47	103.0%	△20	98.8%
医食品バイオ計	2,242	2,447	2,429	186	108.3%	△18	99.3%
売上高計	23,905	25,200	25,900	1,994	108.3%	700	102.8%
(営業損益)							
売上高	23,905	25,200	25,900	1,994	108.3%	700	102.8%
売上原価	11,331	11,612	12,060	729	106.4%	448	103.9%
売上総利益	12,574	13,588	13,839	1,265	110.1%	251	101.8%
販売費一般管理費	10,619	11,587	11,638	1,018	109.6%	51	100.4%
運送費	537	606	611	74	113.8%	4	100.7%
宣伝費	121	117	121	0	100.0%	3	103.4%
促進費	985	855	884	△100	89.8%	29	103.5%
研究開発費	3,026	3,511	3,502	475	115.7%	△9	99.7%
商標使用料(宝HLD)	9	9	8	△0	95.8%	△0	96.1%
管理費、その他	5,832	6,378	6,404	572	109.8%	25	100.4%
事業税(外形基準)	107	107	105	△2	97.6%	△2	97.8%
営業利益	1,954	2,000	2,200	246	112.6%	200	110.0%
(営業外損益)							
営業外収益	372	421	516	143	138.4%	94	122.4%
営業外費用	86	42	56	△30	64.6%	14	133.3%
経常利益	2,240	2,380	2,660	420	118.8%	280	111.8%
(特別損益)							
特別利益	0	—	—	0	189.3%	—	—
特別損失	55	49	283	228	514.8%	234	576.1%
税金等調整前当期純利益	2,185	2,330	2,377	192	108.8%	46	102.0%
法人税等	726	846	1,375	648	189.3%	528	162.4%
少数株主損益調整前当期純利益	1,458	1,483	1,002	△456	68.7%	△481	67.5%
少数株主利益	△11	3	1	13	—	△1	51.2%
当期純利益	1,470	1,480	1,000	△469	68.0%	△480	67.6%
減価償却費(有形・無形)	1,157	1,351	1,340	183	115.8%	△10	99.2%
研究開発費	3,026	3,511	3,502	475	115.7%	△9	99.7%

セグメント別損益(営業利益)

	平成26年3月期 通期実績	平成27年3月期 通期前回予想	平成27年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
バイオ産業支援	4,806	4,945	5,070	263	105.5%	125	102.5%
遺伝子医療	△949	△1,271	△1,145	△196	—	125	—
医食品バイオ	△285	△158	△208	77	—	△50	—
共通	△1,617	△1,514	△1,515	101	—	0	—
計	1,954	2,000	2,200	246	112.6%	200	110.0%

(注) 平成26年3月期通期実績の売上高およびセグメント別損益(営業利益)は、平成26年4月1日付の組織改正に従って、監査実施後の確定数値に組み替えて表示しております。